

主催：(一社)日本印刷学会西部支部 協賛：大阪府印刷工業組合・兵庫県印刷工業組合

2017冬季セミナー

# 多様化する環境における 色の見え方を考える



日時：2017年1月20日(金) 13:10~17:35 (12:30より受付)

会場：株式会社モリサワ 本社4階セミナーホール Tel：06-6649-2151

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 地下鉄御堂筋線・四つ橋線 大国町駅(1番出口2分)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、印刷学会西部支部では「印刷物の見え方」にフォーカスし、冬季セミナーを開催します。

撮影やサンプル評価で使われる照明のLED化・デジタル印刷の普及・再生紙の蛍光増白剤による影響・判別しやすいデザイン表示など、普段から我々が目にする印刷物の「見え方」に関する、気になる話題が挙げられます。これには、大きな社会潮流である、環境・省エネ・少子高齢化・ユニバーサルデザインが深く関わっています。基本に立ち返り、視点を変えるきっかけとしても、是非この機会をご活用頂ければと考えます。

ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

〈プログラム〉 開会の挨拶 (一社)日本印刷学会 西部支部 支部長 出井豊二 13:10~13:20

13:20~14:20

## 1. 照明光源による色の見え方の違いはなぜ起こるのか？

計測によって印刷物と光源の何がわかり、何がコントロールできるのか？

コニカミノルタジャパン株式会社 センシング事業部 顧客サポート部 藤岡 重歳

14:20~15:20

## 2. 見え方に影響を及ぼす用紙特性と市場動向

製紙会社から見た、市場ニーズと用紙選定の留意点

三菱製紙株式会社 洋紙事業部 DPMチーム 担当部長 木村 篤樹

15:35~16:35

## 3. 蛍光増白剤が及ぼすカラーマネジメントへの影響とその測色

測色値と色の見えの相違

エックスライト社 営業部 担当部長 川守田 孝治

16:35~17:35

## 4. 情報は伝える時代から、分かる・伝わるを保障する時代に

株式会社一心社 代表取締役社長

NPO法人 メディア・ユニバーサル・デザイン協会 理事 浦久保 康裕

申込先：日本印刷学会のホームページの「セミナー・講座・シンポジウムの参加登録」からお申し込みください。

<http://www.jspst.org/>

定員：80名(定員になり次第締め切ります)

参加費：会員4,000円、非会員7,000円(いずれも要旨集合む)

※大阪府印刷工業組合、兵庫県印刷工業組合の組合員は会員扱いとなります。

支払方法：当日現金払い(領収書を用意しております。お釣りのないよう参加費のご用意をお願いします。)